

第45回児童生徒 読書感想文コンクール

児童生徒読書感想文コンクールに、多くの優秀な作品が寄せられました。先月に引き続き、最優秀作品を紹介します。

中学校1年生の部 最優秀賞

旅猫リポートに出会って

学んだこと

川湯中学校 大村 紫苑さん



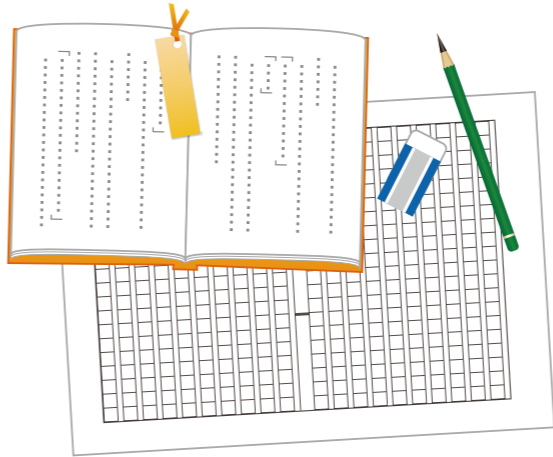
私がこの本に出会ったとき、図書館で読書感想文用の本を、猫が出てくる本で書きたいと思い探して見つけました。私がこの本を選んだきっかけは二つあって、一つ目はこの本を見る前にちょうど映画で旅猫リポートを見てとても感動したのと、二つ目は前から猫が好きで猫が出てくる本をいくつも読んだことがありましたが、この本は主人公の飼った猫のナナの視点でストーリーが進むお話で興味があり読んでみました。

私は本の中に出てくる「ぼくは何も失わない。サトルのくれたナナって名前と、サトルと暮らした5年間を得ただけだ。」という猫のナナのセリフに心を打たれました。サトルが病気のためもうすぐ死んでしまうという場面でナナが言ったセリフです。本来人間なら大切な人がいなくなってしまうと考え、心配したりしてネガティブになってしまうと思いますが、ナナの場合はポジティブに考えている所に心を打たれました。

書名「旅猫リポート」

有川 浩 著

（寸評）
「出会いには須く大切である」との思いが、ひしひしと伝わる感想文だったと思います。また、人間の視点ではなく、飼った猫の視点を中心に話が進められていることに着目した感性は、まさしく「書を読む」ことの楽しみを改めて確認できたのではないのでしょうか。今後の読書においても、誰の視点によって物語の流れが進行しているのかを考えながら読むと、一層読書の楽しみが増えるのではないのでしょうか。



私はこの本を読んで、大事な人がいなくなってしまう時は、悲しむことも大事ですが笑顔でいることも大事だと考えました。大事な人がいなくなってしまうのは確かに悲しいことですが、自分が悲しんでしまうと相手まで悲しい気持ちになってしまうと思っただけで、できるだけ笑顔を見せて、相手もうれしい気持ちでいられるようにできた方がいいなと思いました。

この本にはサトルとナナが出会った頃や、友人、親せきに出会うまでの間のお話などもあるので、もっと詳しく旅猫リポートを知りたいという人は、ぜひ実際に読んでみてほしいと思います。家族や友人、これからの新しい出会いにおいて、ナナのようにまたひとつ違った視点で見えてくるものがあるのかもしれない。

中学校2年生の部 最優秀賞

目標の叶え方

弟子屈中学校 坪井 馨代さん



「努力は裏切らない。」

この世の中にはこんな言葉がある。でも、この言葉を前の自分あまり信じていなかった。でも、ある本がそんな自分を変えてくれた。それは、『チア☆タン 女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話』という実話から生まれた話。私は、この本に目標の叶え方を教えてもらったと思う。

一つ目は、努力すること。いくら心の中で願っても叶いはしない。だから、自分から行動して、努力をする。私は、釧路地区吹奏楽コンクールの6分間の演奏のために冬休みからほぼ毎日練習を重ねてきた。できない所は、何百回も練習をした。でも、努力するだけでも目標は叶わない。

二つ目は、信じること。一人で練習するとき、間違えても、自信を持って何度も練習すること。仲間と練習するときは、相手を信じていること。信じ合うことで一体感が生まれると思は思う。吹奏楽の場合、信じ合うことで、他の人の音を聞いて合わせることで、他の人の音を聞いて合わせることで、きれいなハーモニーをつくる。これができると私は思

う。信じ合うことで、もっと美しい音楽をつくれることができる。

三つ目は、助け合うこと。一人で練習しても、どこを直したらいいかわからないときは、誰かに見てもらって、アドバイスをしてもらって、同じ楽器の人と合わせて、改善点を見つけることで、私の場合は、やる気を出すことができる。同じメロディーを吹いている人や伴奏を吹いている人と合わせて、互いにアドバイスし合うこと自分とは違う見方を知り、これからの練習に活かすことができる。このように、助け合うことから、たくさんの方に学ぶことができる。

四つ目は、協力すること。似ているが、私は別だと思ふ。協力は、力を合わせて、美しいメロディーや、聞いているだけでメロディーが浮かんでくる伴奏をつくれることができる。この2つが合わさると、場面が浮かんでくる美しい音楽をつくりだせると私は思う。そのためには、「一緒に」という感覚が必要だと思ふ。一人で頑張っても、曲はよくなる。だから、みんなで一緒に頑張るという気持ちがあると、集団は、良い方向に進むと思ふ。

これらの四つが私が学んだ目標の叶え方だと考える。「努力すること」「信じること」「助け合うこと」「協力すること」は、どんな部活にも、どんな人にも必要なことだと思ふ。吹奏楽部の私達は、学校の人、地域の人、保護者に助けていたが、夢の全道大会に出場することができるよう。そのことへの感謝

を忘れずに、これからも練習していきたい。そして、『チア☆タン 女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話』から学んだ目標の叶え方を活かして、私の目標「全道大会で、楽しく演奏して金賞を取ること」を叶えたいと思ふ。そして、良い結果を持って帰ってきたらと思ふ。目標の叶え方を私の中で、もっと特別なものにしたと思ふ。

おわり

書名「小説チア☆タン」

みづら かれん 文

（寸評）
「いくら心の中で願っても叶いはしない。だから、自分から行動して、努力をする。」

馨代さんの感想文の中で、印象に残った言葉です。人は行動せずに成功したり、成長することはありません。部活動で全道大会の景色を見た馨代さんだからこそ、この言葉が出てきたのだと思ひます。これからも多くの経験を重ね、目標へのアプローチの仕方や、考え方をより深くレベルアップさせていってくださ

そのほかの最優秀作品についても、来月以降順次紹介していきます。

※生徒の学年は、コンクールが行われた令和元年度当時のものです。